



ヨハネの黙示録

神の勝利を祝して

PART ONE

 GraceCity
Church Nagoya

目次

- I. 使い方
- II. はじめに
- III. ヨハネの黙示録1:1-20 → プロローグ
- IV. ヨハネの黙示録2:1-3:22 → 7つの教会
- V. ヨハネの黙示録4:1-5:14 → 御座
- VI. ヨハネの黙示録6:1-7:17 → 7つの封印
- VII. ヨハネの黙示録8:1-9:21 → 7つのラッパ
- VIII. ヨハネの黙示録10:1-11:19 → 語ることによる苦難

使い方

グレイスシティチャーチではC.O.M.A. (Context = 文脈、Observation = 観察、Meaning = 意味、Application = 適用) の方法を用いています。この方法を持って聖書箇所に取り組んでいきましょう。私たちは理論に焦点を当てた「議論のための質問」を「応答するための質問」（参加者が聖書箇所の中心テーマと個人的に対話することを求める質問）に置き換えることが適切だと考えています。

文脈 →

1. 周囲の節、段落、章、出来事などに注意を払い、読んでいる箇所が、聖書の中の特定の書物の文脈にどのように当てはまるかを確認してください。
2. この箇所が聖書全体の大きなストーリーにどのように当てはまるのか、つまり、神がイエス・キリストを通してどのように人々を救い、神の御国でご自身の支配のもとに生きていくようにしたか、に注目してください。

観察と意味 →

3. 聖書本文を注意深く観察しましょう。接続ワード（例: 「～なので」「もし」「ですから」など）、繰り返し、対話、物語、旧約聖書の引用などの詳細に目を留めましょう。

4. 聖書本文の意味を理解するためには、著者の目的や意図（聖書の著者はなぜこれを書いているのか？）を見極める必要があります。
5. 手助けとなる質問の例：
 - ▶ 誰が、誰に向けて書いていますか？
 - ▶ 著者と読者の状況はどうでしたか？
 - ▶ 取り組むべき問題があり、そちらへ目を向けるようにと促されていますか？
 - ▶ 繰り返されるテーマや、すべてをまとめている一つの主題はありますか？

適応 →

6. 神のことばを心に適用しましょう。「心」に関する良い質問をすることで、単に状況や行動に対処することの先へと進みましょう。例えば、「なぜ私たちはこうするのでしょうか？」「私たちは本当のところ何を望んでいるのでしょうか？」
7. 常に福音を適用に結びつけましょう。例えば、「キリストを知っていることは、私たちの神への従順にどのような違いをもたらすのでしょうか？」
8. 神、私たち自身、キリストにある救い、教会、世界などについて、その箇所が私たちに何を教えているのかを尋ねてみましょう。



はじめに

はじめに

使徒ヨハネは、流刑先のパトモス島からヨハネの黙示録を書いた人物です。宛先はエペソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアのアジア地域にある7つの教会でした。ヨハネはエペソで長年働いていたので、彼が見たこの幻についてを自分の管理下にあった教会に伝えるのは自然な流れのように思えます。

より大きな物語の中に位置づける

ヨハネの黙示録に散りばめられた様々な祝福（最初の祝福は1:3、最後の祝福は 22:14）は、この書物の主な目的が終末論的な謎を解くことではなく、苦しんでいる神の民に祝福をもたらすことであることを示しています。神からの祝福は、自分自身から切り離せる贈り物ではありません。神の祝福とは神ご自身なのです。新しい創造において、神はご自身の民とともに「住まわれる」方です（ヨハネの黙示録 21:3）。完璧な黄金の立方体として描写される新しいエルサレム（ヨハネの黙示録 21:15-21）は、神殿の至聖所に通じるものです。これは、新しい創造において、神の民が次のようなことをするようになることを示唆しています。まず、年に一度、大祭司だけが許されたように、神の臨在を直接享受することができるようになります。そして、新たに

創造された世界においては、モーセにも与えられなかった特権が与えられ、神の民は神の御顔を直接見ることができるようになります（ヨハネの黙示録 22:4）。アダムとエバが園から追放された後に始まり、イスラエルが約束の地から追放されるまで続いた、神の前から追放される長く辛い物語は、ついに終わりを迎えるのです。神の民は、新しい創造において神の親密な臨在を喜び、もう二度と追い出されることはないのです。

神の民がこの約束された未来を待ち望んでいる中、ヨハネの黙示録は、偶然に起こることは何もないことを主張します：それはすべての物事は神の主権的な計画によって起こるからです：「イエス・キリストについての黙示。神はこれからすぐに必ず起こるべきことをしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。」（ヨハネの黙示録 1:1）。「預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、すぐに必ず起こるべきことをしもべたちに示された」（ヨハネの黙示録 22:6）という注意喚起で、この書物は終わっています。これは神のご意志によるものであるため必ず起こらなければいけません。神の主権的な支配は、現代においても安定した慰めと力をもたらします。神はこの世界のあり方を定めておられます。そのような神はその民の宝であり、その御座は礼拝する御使いや人間の中に置かれています（ヨハネの黙示録4-5）。



プロローグ

ヨハネの黙示録1:1-20

ヨハネの黙示録1:1-20 プロローグ

聖書箇所

ヨハネの黙示録1:1-20

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

ヨハネは、この書物をイエス・キリストのヨハネの黙示録として紹介しています（1節）。すなわち、この書物はイエスから出たものであり、イエスについて書かれたものだということです。神はイエスにメッセージを与えられ、

イエスは御使いをヨハネに遣わし、イエスに従う者たちが神の御言葉を証しするよう動機づけられました。ヨハネはイエスを「死者の中から最初に生まれた方」（5節）と呼んでいます。それはイエスの復活がイエスに従う者の復活を保証しているからです（第一コリント15:20-22）。


ヨハネは、艱難と御国のどちらに向き合う際にも、読者を兄弟として、また仲間として識別しています。新約聖書の中で共通しているテーマは、福音を受け入れる者は苦難に直面することです（9節）。やがて栄光に通じることになる苦難を通ることは、イエスの生涯に見られるパターンであるだけでなく、これはイエスに従う者たちの生涯においても同じなのです（マタイ5:11-12、マルコ10:29-30、使徒14:22、第一テサロニケ2:4、第二テモテ3:12、第一ペテロ2:21参照）。ヨハネがパトモス島に追放されたのは、「神のことばとイエスの証」のゆえでした（9節）。その苦難の最中に、彼の前にイエスが現れました（10-20節）。しかしヨハネは恐れる必要はありませんでした（17節）。なぜなら、イエスは死んでも生きておられ、「死とよみの鍵」は彼の手に握られているからです（18節）。たとえ信者が死に追いやられたとしても、イエスが捕らえられなかったように、死と地獄が信者達を捕らえることはないイエスは保証しておられるからです。

観察と意味

1. この書物は何についての書物なのでしょう（1節）？神はこのヨハネの黙示録を誰のために書かれたのでしょうか（1節）？神は私たちにヨハネの黙示録を通して何を学ばせたいのでしょうか（1節）？時間をかけてヨハネの黙示録を学ぶ者には、何が約束されていますか（3節）？
2. ヨハネはこの手紙を誰に宛てて書きましたか（4節）？ヨハネがイエスを描写するのに用いた3つの表現は何ですか（5節）？ヨハネはこの書物の冒頭でどのような預言をしていますか（7節）？
3. ヨハネは、どのような意味で読者の仲間だと言えるでしょうか（9節）？イエス・キリストの黙示を受け取った時、ヨハネはどこにいましたか（9節）？ヨハネは幻の中で、どのような声を聞きましたか（10節）？その声はヨハネに何を命じましたか（11節）？
4. ヨハネが振り向いた時、後ろに立っていたのは誰でしたか（13節）？「人の子のような方」の姿はどのようなものですか（14-16節）？栄光の内におられるイエス・キリストを見の当たりにして、ヨハネはどのような反応をしましたか（17節）？

適応

- この箇所から人間の本質について何を学べますか？この箇所から、神のご性質について何を学べますか？
- ヨハネは、苦難と御国の両方に向き合うことにおいて、兄弟として、また仲間の信者として読者を認識しています（9節）。あなたは仲間である信者が受けている苦難についてどのように捉えていますか？
- 「人の子」は、自分が永遠に存在することを断言する際に（17節）、イザヤの言葉を引用しています（イザヤ44:6参照）。このことを知る時、ヨハネと諸教会は恐れる必要はありません（17節）。イエスは死なれたが、今は生きておられ、死に永久に勝利されました（18節）。死とよみに対するイエスの勝利は、あなたにとってどのような慰めになりますか？このことは現在抱えている恐れを手放すためにどのような助けとなるのでしょうか？



7つの教会

ヨハネの黙示録 2:1-3:22

ヨハネの黙示録 2:1-3:22

7つの教会

聖書箇所

ヨハネの黙示録 2:1-3:22

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

7つの教会への手紙は、同じような構成で書かれています。それぞれの特徴は以下の通りです：

- 特定の会衆の信徒たちへの言葉
- イエスについて
- 教会の状態に関する声明
- 教会の状態に関する勧告
- イエスから教会への命令
- すべてのクリスチャンへの勧め
- 報いについての約束

イエスの言葉には、懲戒の警告と報いの約束が含まれています。**エペソ**の教会は、はじめの愛を保つこと (2:4) そして**ラオディキア**の教会は行いが生ぬるくならないように (3:16)。**スミルナ**と**フィラデルフィヤ**の教会はサタンの会堂からの迫害に対して堅く立つべきであると言われます (2:9)。**ペルガモン**、**ティアティラ**と**サルディス**の教会は偶像のいけにえの食物を食べたり、性的不道徳をしたりするような、誤った教えとの妥協を避けるべきだと言われています (2:14、20)。

苦難の中でも忍耐強く耐え（2:3）、死に至るまで忠実である人々は（2:10）、御霊が諸教会に語ることに耳を傾け、悔い改めの呼びかけに従っている者たちです（2:5、16、21、3:3、19）。彼らはいのちの木から食べ（2:7）、第二の死によって傷つくこともなく（2:11）、新しい名前を受け（2:17）、国々に対する権威を持つようになります（2:26）。

イエスは打ち勝つ者たちに、いのちの書からその名を決して消すことはなく（3:5）、神の神殿の柱にすると約束されます（3:12）。これらの「打ち勝つ者」は、裸には衣服を、目には薬を与えられます（3:18）。彼らは、イエスと同じように勝利して、イエスと共にその御座に座ります（3:21）。これらの「打ち勝つ者」は、イエスの名を固く守り（2:13）、イエスを否定しません（3:8）。ヨハネにとっての「打ち勝つ」とは、人間の努力の結果ではなく、イエス・キリストの御業を信じる信仰の結果なのです（第1ヨハネ5:4-5参照）。

観察と意味

1. ヨハネは「教会の御使い」（2:1、2:8、2:12、2:18、3:1、3:7、3:14参照）について書いていますが、誰の言葉を書き留めているのでしょうか？言い換えれば、イエスは自分自身をどのように描写していますか？

ヨハネの黙示録2:1	右手に七つの星を握る方、七つの金の燭台の間を歩く方
ヨハネの黙示録2:8	初めてあり終わりである方
ヨハネの黙示録2:12	鋭い両刃の剣を持つ方
ヨハネの黙示録2:18	
ヨハネの黙示録3:1a	
ヨハネの黙示録3:7	
ヨハネの黙示録3:14	

2. イエスは各教会について何を知っているのでしょうか？

ヨハネの黙示録2:2-3	わたしは、あなたの行い、あなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが悪者たちに我慢がならず...
ヨハネの黙示録2:9a	わたしは、あなたの苦難と貧しさを知っている。だが、あなたは富んでいるのだ。ユダヤ人だと自称しているが実は...
ヨハネの黙示録2:13	わたしは、あなたが住んでいるところを知っている。そこにはサタン の王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って...
ヨハネの黙示録2:19	
ヨハネの黙示録3:1	
ヨハネの黙示録3:8	
ヨハネの黙示録3:15	

3. イエスは各教会にどのような不満を持っていますか？

ヨハネの黙示録2:4	けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった
ヨハネの黙示録2:9b	ユダヤ人だと自称しているが実はそうでない者たち、サタンの会衆である者たち
ヨハネの黙示録2:14-15	けれども、あなたには少しばかり責めるべきことがある。あなたのところに、...バラクに教えて...彼らの前につまづきを置かせた。
ヨハネの黙示録2:20	
ヨハネの黙示録3:1	
ヨハネの黙示録3:9	
ヨハネの黙示録3:16-17	

4. イエスは各教会に何をするように望んでいますか？

ヨハネの黙示録2:5	だから、どこから落ちたのか思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。
ヨハネの黙示録2:10	あなたが受けようとしている苦しみを、何も恐れることはない...死に至るまで忠実でありなさい...
ヨハネの黙示録2:16	だから悔い改めなさい...
ヨハネの黙示録2:24-25	
ヨハネの黙示録3:2-3	
ヨハネの黙示録3:11	
ヨハネの黙示録3:18-19	

5. イエスは勝利を得る者へどんな報いを約束していますか？

ヨハネの黙示録2:7b	勝利を得る者には、わたしはいのちの木から食べることを許す。それは神のパラダイスにある。
ヨハネの黙示録2:11b	勝利を得る者は、決して第二の死によって害を受けることはない。
ヨハネの黙示録2:17b	勝利を得る者には、わたしは隠されているマナを与える。また、白い石を与える。その石には、それを受ける...
ヨハネの黙示録2:26-28	
ヨハネの黙示録3:5	
ヨハネの黙示録3:12	
ヨハネの黙示録3:21	

適応

- この聖書箇所を通してどのようなイエスの性質を学びましたか？
- これらの境界の中で一番自分に似ていると感じるものはどの教会ですか？また、それはなぜですか？
- イエスは各教会に対して同じ訴えをしています（2:7; 2:11; 2:17; 2:29; 3:6; 3:13; 3:22参照）。この訴えのどこが重要でしょうか？そして、あなたはその訴えにどのように応えていると思いますか？



御座

ヨハネの黙示録4:1-5:14

ヨハネの黙示録4:1-5:14

御座

聖書箇所

ヨハネの黙示録4:1-5:14

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

ヨハネは、迫害と艱難に直面している諸教会に向けて手紙を書いています（2:9-10、3:9-10）。このような困難な状況の中、

ヨハネは天の御座に招かれ、全能の主なる神が御座におられるのを目の当たりにしました（4:2）。全能の主なる神は、天の宮廷の高官たちによって礼拝されています（4:6-10）。神が天の御座に着座し、神にふさわしいかたちで礼拝されているという知識は、邪悪な世を前にして取るに足らない少数派のように見える迫害されているクリスチャンたちを励ますために与えられているのです。天の神こそが全てを統治する方なのです。いつかその支配が地上を覆い、すべての悪と闇を最終的に終わらせます。そのことを確実なものにするのがキリストの死と復活なのです。


御座の周りの側近達の中に巻物を開くにふさわしい者は誰もいませんでした（5:2-3）。それを見てヨハネは激しく泣きました（5:4）それは悪と罪と死の敗北は、この巻物が開かれるかどうかにかかっているからです。長老たちは、ユダ族の獅子（創世記49:8-12参照）をダビデの根（イザヤ11参照）と見なしています。イエス・キリストこそが勝利者であり、巻物を開くことができる方です。イエスによる勝利は、まるで屠られたかのように立っている子羊によって描かれています（5:6）。これは、キリストの十字架上の犠牲の死と、死者の中からの勝利の復活を描写しています。人の子が「年を経た方」の前に導かれること（ダニエル書7章参照）の成就として、イエスは御父の前に導かれ、封印された巻物を開かれます（5:7）。

観察と意味

1. 七つの教会のためにメッセージを受け取った後、ヨハネは何を見ましたか（4:1a）？ヨハネはどんな声を聞きましたか（4:1b）？その声はヨハネに何と言いましたか（4:1c）？
2. ヨハネが目の当たりにした驚くべき光景について考えてみましょう（4:2-11）：
 - ヨハネは御座に座っている方をどのように描写しましたか（4:3）？
 - 御座の周りには何がありましたか（4:3-4）？
 - 御座からは何が出てきていましたか（4:5）？
 - ヨハネは御座の前で何を目撃しましたか（4:5-6a）？
 - 御座の周りにはどんな生き物がいましたか（6b-7）？
 - 四つの生き物は、神のどのような属性を繰り返し賛美しましたか（4:8b）？
 - 二十四人の長老たちはどのように主を礼拝しましたか（4:10）？
 - なぜ長老たちは、神賛美されるにふさわしいと言ったのでしょうか（4:11）？
3. 天の御座に座っておられる方の手には何がありましたか（5:1）？強い御使いはどのような宣言をしましたか（5:2）？巻物が開かれなかった時のヨハネはどのような反応をしましたか（5:3-4）？二十四人の長老の一人はヨハネにどんな言葉をかけましたか（5:5）？
4. ヨハネが見た子羊は、どんな姿をしていましたか（5:6）？子羊は何をしましたか（5:7）？そして生き物達は子羊の行動にどう反応しましたか（5:8-9a）？子羊は何のためにあがめられ、礼拝されたのでしょうか（5:9b-10）？

適応

- この聖書箇所を通してどのようなイエスの性質を学びましたか？
- 神が人種や民族を区別されない（5:9-10参照）こと、また、なぜ私たちはすべての人種の人々を等しく評価し、すべての人に敬意をもって接しなければならないのかということについて、どのような根拠をこの箇所から見いだすことができますか？
- あなたの礼拝は、生きとし生けるもの、長老たち、多くの御使いたちの礼拝と比べてどのようなものでしょうか？



7つの封印

ヨハネの黙示録6:1-7:17

ヨハネの黙示録6:1-7:17

7つの封印

聖書箇所

ヨハネの黙示録6:1-7:17

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概念

イエスが巻物の封印を解いてから展開される出来事はオリーブ山での説教（マルコ13章参照）で予言された出来事とほぼ一致します。白馬に乗って

る者はイエスのふりをしている者のようです（6:2）。イエスは言われました。「私の名を名乗るものが大勢現れ、『わたしこそ、その者だ』』と言う」（マルコ13:6）。イエスは「戦争と戦争のうわさ」が起こるとも言われました（マルコ13:7）。これは、勝利を収めに来る白馬の乗り手（6:2）と、地上から平和を奪うことを許された赤馬の乗り手（6:4）がもたらすものです。最初の二人の騎手によって引き起こされた戦争の後には、飢饉と災いが続くと言われています（6:5-6）。ヨハネは、イエスの教えを改めて示し、読者が神の言葉を堅く守るよう準備するよう伝えています。ヨハネは、偽の福音を拒絶し、真の福音に忠実であり続けるように読者に準備しているのです。神は忠実なしもべに印を押し、しるしを付けられます（7:1-8）。この印は、来るべき試練の間、忠実な者たちを守るものです。忠実なしもべ達は白い衣をまとい、神への賛美をもって応答する姿が描かれています（7:9-17）。

観察と意味

1. 封印が解かれることについて考えてみましょう：
 - i. この箇所の冒頭の場面（6:1）では何が起こりましたか？第一の馬とその乗り手の姿と使命は何だったのでしょうか（6:2）？
 - ii. 第二の封印が解かれた後、何が起こったのでしょうか（6:3）？第二の馬とその乗り手はどのように描写されていますか（6:4）？

- iii. 第三の封印が開かれた時、何が起こりましたか (6:5a) ? 第三の馬とその乗り手はどのように描写されているでしょうか (6:5b) ?
- iv. 第四の封印が開かれた時、何が起こりましたか(6:7)? 第四の馬とその乗り手はどのように描写されていますか (6:8) ?
- v. 第五の封印が解かれた後、ヨハネは何を見ましたか (6:9) ?そして殉教者たちは神にどのような質問をしましたか (6:10) ?
- vi. 第六の封印が開かれた時、何が起こりましたか (6:12-14) ? 封印が解けて解き放たれた出来事に対して、地上の住民はどのように反応しましたか (6:15-17) ?

2. 最初の6つの封印が解かれた後、ヨハネは何を見ましたか?そして、それはどこに位置していましたか (7:1) ? 生ける神の印を持つ御使いは4人の御使いに、『私たちの神のしもべたちの額に印を押してしまうまでは、地にも海にも木にも害を加えてはならない』と告げました (7:3) 。ヨハネの幻の中で、何人が印を押されましたか (7:4a) ? 印を押されたしもべたちとは誰のことですか (7:4b) ?
3. 印を押された144,000人の神のしもべたちを見た後、ヨハネは何を見ましたか (7:9) ? その人たちは何を着ていましたか (7:9) ? その人たちは何を言っていましたか (7:10) ?

4. 長老の一人はヨハネに何を尋ねましたか (7:13) ? ヨハネは長老の質問にどう答えましたか (7:14a) ? 長老は、白い衣を着ている人たちの正体についてどのように説明しましたか (7:14b) ? 大患難から抜け出す者には、どのような祝福が待っているのでしょうか (7:16-17) ?

適応

- この箇所から人間の本質について何を学べますか? この箇所から、神のご性質について何を学べますか?
- あなたはどのような点において偽りの福音を受け入れる誘惑に駆られますか? あなたは、真の福音を堅く守ることにあたりどのような点を守るのが難しいと感じていますか?
- 信仰者としてのあなたの人生に神の印が押されているという保証は、現在のあなたにどのような安心感を与えますか?



7つのラツパ

ヨハネの黙示録8:1-9:21

ヨハネの黙示録8:1-9:21

7つのラッパ

聖書箇所

ヨハネの黙示録8:1-9:21

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

主は民の救いを求める叫びを聞き（出エジプト2:23-25）、エジプトから脱出する前の災い（出エジプト3-14）を通して民を救われました。同様にこの箇所では、すべての聖徒達の祈りが主の前に示されま

す(8:3)。主はラッパの裁き（ヨハネの黙示録8-9）と鉢の裁き（ヨハネの黙示録16）を通して、民を束縛から解放されます。

- **第一**のラッパのさばき、雹と火（8:7）は、エジプトに対する第七の災い（出エジプト記9:23-25）と一致します。
- **第二**と**第三**のラッパの結果引き起こされるのは、海が血に変わり（8:8-9）、川と泉が苦くなる（8:10-11）ことで、これらもエジプトへの第一の災い（出エジプト記7:19-21）を思い起こさせます。
- **第四**のラッパは暗闇をもたらし（8:12）、これは第九の災い（出エジプト記10:21-29）に似ています。
- **第五**のラッパの後にはサソリが現れ（9:1-11）、エジプトに対する第八の災いがイナゴによるものであったのと同じです（出エジプト記10:12-20）。
- **第六**のラッパは、人類の三分の一を殺す騎馬軍団をもたらす（9:13-21）。エジプトの長子を殺した死の天使（出エジプト記11:1-10、12:29-32）を想起させます。

このラッパのさばきが出エジプト記の災いと共鳴するような似た出来事であることは、雲に包まれ、火柱のような脚を持つ強い御使いの存在によっても裏付けられています（10:1）。神が火と雲の柱をもってイスラエルをエジプトから荒野に導き出されたように（出エジプト記13:21参照）、今、出エジプト記で起きた災いも、ラッパのさばきにおいて、その本当の目的が成就したのです。神のしもべヨハネを通して神の民に導きを与えるために、神は雲と炎の御使いを遣わしたので

罪と死の奴隷となっている私たち罪人は、奴隷状態から脱して、神との交わりを回復する約束の地へと向かう新たな出エジプト的な脱出を必要としています。これこそ、イエスが犠牲の過越の子羊として成し遂げてくださったことなのです。神はご自身の御子を見過ごされなかったのでゆえに、憐れみによって私たちを見過ごされるのです。

観察と意味


1. 第七の封印（8:1）を解いているのは誰ですか？第七の封印が解かれた後、ヨハネは七人の御使いを見ました。この御使いたちには何が与えられましたか（8:2）？
2. ラッパが一つずつ鳴らされていきます(8:6)。第五のラッパが鳴った時、ヨハネは何を見ましたか（9:1）？どんな生き物が底なしの穴から出て来ましたか（9:2-3）？これらの生き物は何と命令されましたか（9:4）？
3. 第六の御使いがラッパを吹いた時、どのような出来事が起こりましたか（9:13-19）？
4. これらの災いによって殺されなかった残りの人類について、私たちは何をすることができますか（9:20-21）？

適応

- この箇所から人間の本質について何を学べますか？
- 現在の神との交わりの中で、あなたが最も感謝しているのはどのような点ですか？
- 神との永遠の交わりの中で、あなたが最も楽しみにしているのはどの部分ですか？

**私たちは自分の魂が密かに
持っている掟に従って、心の中で
想像している「神の姿」へ
と目を向ける傾向があります。**

A.W. Tozer



語ることによる苦難

ヨハネの黙示録10:1-11:19

ヨハネの黙示録10:1-11:19

語ることによる苦難

聖書箇所

ヨハネの黙示録10:1-11:19

目的

ヨハネの黙示録は、聖書の中で最も誤解されている書物の一つと言えます。難しく混乱を生みやすいため、多くのクリスチャンがこの書を避けているのが現状です。著者の一番の目的は、神の勝利を祝うことにあります。これこそが、ヨハネが私たちのために記録し、その中で一貫して希望に満ちたメッセージなのです。ヨハネは、私たちに明確で説得力のある未来の展望を与えることによって、私たちが現在を忠実に生きる助けとなることを願っているのです。

概要

御使いの出現は、出エジプトの後、主が雲と炎の柱によって民を導かれたことだけでなく、ノアの救いについても言及しています（御使いは頭上に虹をかけている）。これらの一連の旧約聖書に出てくる救いの行為は、イエスの死と復活を指し示しています。イエスはここで、救いのための最後の働きをされています。イエスは父から巻物を受け取り（ヨハネの黙示録5）、それを開きました（ヨハネの黙示録6-8）。そして御使いがそれを降ろし（10:2）、ヨハネがそれを食べました（10:8-11）。実はヨハネはここでも旧約聖書（エゼキエル書2:9-3:4）に出てくる場面を再現しているのです。ヨハネが巻物を食べることで、神の民はヨハネが真の預言者である証拠を与えられています。諸教会は偽教師に直面し（ヨハネの黙示録2:14, 20参照）、偽預言者が登場しようとしていました（ヨハネの黙示録13:11-18; 16:13）。そのような中においても、イエス・キリストの御業によって贖われた者は、預言者ヨハネを信じなければならないのです。

ヨハネは、神殿が42ヶ月間守られ、二人の証人が1260日間預言するのを見ます（11:1-6）。その後、二人の証人は殺されますが（11:7）、神は彼らの正しさを立証し、彼らの復活は乾いた骨の谷（エゼキエル37章参照）を思い起こさせます。ヨハネの記述は、神が福音を宣べ伝えるために彼らを召された期間中、神はご自分の民を守ることができるということも諸教会に伝えていきます。そして、たとえ敵に殺されたとしても、神は死者をよみがえらせることができる！この真実は、当時迫害されていた教会を大いに励まし、福音を宣べ伝え続けさせたことでしょう。

観察と意味

1. 最初の6つの裁きのラッパの後、ヨハネは何を見ましたか（10:1）？御使いは何を持っていましたか（10:2）？御使いが呼びかけると、七つの雷が鳴りました。七つの雷が鳴った時、ヨハネは何をしようと思いましたか（10:4）？御使いは何と誓いましたか（10:6b-7）？
2. 天からの声はヨハネに何をするように言いましたか（10:8）？御使いはヨハネに、小さな巻物をどうするように言いましたか（10:9）？ヨハネが巻物を食べた時、何が起こりましたか（10:10）？この時、ヨハネが御使いに最後に言われたことは何ですか（10:11）？
3. ヨハネは与えられた測り竿で何をするように言われましたか（11:1）？その後、二人の人物に権威が与えられることとなります（11:3）。「二本のオリーブの木、また二つの燭台」と呼ばれる者には、どんな特別な保護が与えられますか（11:4-5）？二人の証人はどのような超自然的な力を持つようになりますか（11:6）？二人の証人はどのように死にますか（11:7）、そして二人の証人が死んだ後、三日半の間に何が起こりますか（11:8-10）？
4. 第七の御使いがラッパを吹き鳴らしたとき、その声は「この世の王国」について何と告げましたか（11:15）？二十四人の長老たちは、このメッセージにどう応答しましたか（11:16）？

適応

- ヨハネが巻物を食べた時、口には甘かったが、腹には苦かったのは何を意味していると思いますか（10:9-11）？
- 福音を宣べ伝える民を神が守ってくださるという事実は、あなたがより熱心に福音を伝えることについてどのような励ましとなりますか？
- 御使いたちや天の地位にある長老たちでさえも、完全にへりくだって神を礼拝している（11:16）ことは、あなたにとって何を意味しますか？

**ヨハネにとっての「打ち勝つ」とは、
人間の努力の結果ではなく、
イエス・キリストの御業を
信じる信仰の結果なのです。**

<https://www.gracecity.jp>

